

初めての国内旅行

吉村千陽

中国での留学生活が始まって三ヶ月目に入った。10月の下旬ごろから急激に寒くなり、ダウンジャケットとマフラー、手袋をしないと外に出られないくらいの寒さである。11月に入るまでは、教室や寮の暖房器具が使えないので授業中もみんなそのままの格好で授業を受けている。そして11月に入って暖房器具（中国では暖気 nuanqi と呼ばれ、温めたお湯を各部屋のパイプに流し部屋の温度を上げる暖房器具）が使えるようになったが、お湯を温めるためにたくさん石炭を燃やす為、空気がいつも以上に悪くなった。ひどいときは10メートル先すら見えない時もある。11月に入ってから外を歩くときは日本から大量に持ってきたマスクを2、3個重ねてつけて生活をしている。

10月1日（土）から9日（日）まで中国では国慶節という祝日で学校が一週間休みだったので、友人たちと太原から車で二時間ほどで行ける平遥古城という観光地に行ってきた。平遥古城は私たちが暮らす山西省にある名所のひとつで、ユネスコの世界遺産にも認定されている。高い城壁に囲まれており、中に入ると中国らしい色合いの建物や、伝統的な雑貨、食べ物、何よりも活気あふれる雰囲気にとっても感動した。中国にはたくさんの古城があるが、それらのなかでも平遥古城は保存状態がとてもよく、ほとんどが当時のままの姿で残されている。そんな世界遺産の平遥古城だが、国慶節だったためか観光客でごった返しており、数メートル先に行くのにかなり時間がかかった。今回はタクシー運転手をしている友達が行き帰りの送り迎えや平遥古城の中を案内してくれたので、とても有意義な旅行になった。昼食で食べた平遥の名産物である平遥牛肉（日本のスモークされたハムのようなもの）がとてもおいしく、帰りにお土産で買って帰った。

授業では、最近先生や中国人の友達の中国語を聞き取れるようになり、簡単なコミュニケーションやふざけたことを言って笑いあえるようになった。しかし、やはりまだまだ語彙力が弱いのと、漢字や意味は分かるが四声がわからなくて自分の言ったことを相手が聞き取れないことが多々ある。くじけずにたくさん話す練習をしていこうと思う。



平遥古城の駐車場



きれいに残る門



活気あふれるメイン通り